

栗窓

発行

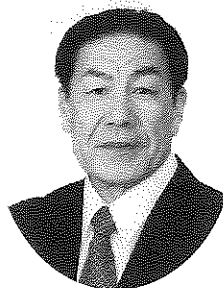
北海道栗山高等学校

同窓会事務局

TEL0123-72-1343

印刷 企画印刷株式会社

「新たな年に向かって」



同窓会長
本田 諭

賀正、降り積もる新雪に初日が映え、二〇一九年の幕開けに相応しい年、心よりご挨拶申し上げます。

今年はこの様に向かう年なのかと期待に胸を膨らませております。

昨年は大変大きな地震、そして大きな台風により多大な被害が発生し地域によっては損壊の危機に立たされております。被害に遭われた方々に心よりご冥福をお祈り申し上げます。

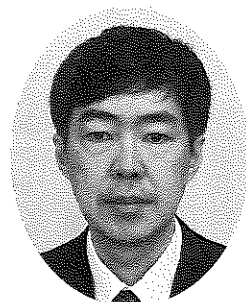
さて新春を迎えられました栗山高生徒の皆さん、高橋校長先生を始め諸先生方、事務の皆様

謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は小・中・高一貫授業、又ふるさとキャリア体験授業等、学習も実践し実績を重ねている事を実感した次第です。又部活動では全道、全国大会へと数多くの生徒達が参加され実績を上げております。更には子供達の美の感覚を持つてゴミ拾いなど社会に参加する姿が目に入りました。心の成長が育つと思えます。

さて、三年生はこの三月で卒業です。進学、就職にと胸を張られていく事と思います。高校生活の思い出を大事にして下さい。そして将来へのご活躍心より応援しております。お体に充分気を付けられ、一步一步前に進んで下さい。一言皆様にお祝いの言葉と代えさせて頂きます。

「卒業式にあたって」



校長
高橋 尚紀

長く厳しかった今年の冬、雪かきに追われる日々が続き、路肩には背丈を超える雪山が連なりました。それでも、お日様の光が、日に日に力強くなっており、ようやく春の兆しが見えてまいりました。その様な季節の移ろいを背景に、第七十一回卒業生が栗高から新しい世界、時代へと羽ばたいていきます。卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。

また、栗高では、二月二十八日に同窓会入会式が挙行され、六十一名の生徒が、新に栗山高校同窓会の会員となりました。先輩同窓会会員各位におかれましては、新会員への御指導・御鞭撻をいただきますとともに、様々な場面での御支援をよろし

くお願い申し上げます。

さて、平成三十年度、栗山高校では、部活動の活躍が光りました。高体連大会では、弓道と水泳で全道大会に進出し、弓道

部三年、前田瞳可さんが、インターハイまで駒を進め、全国十五位の成績をあげました。秋には、サッカーの選手権大会で、栗山高校と長沼高校と連合チームが全道大会に進出し、一回戦で札幌稲雲高校に勝利し、連合チームでは初となる二回戦進出を果たしました。また、テニス部が、新人戦で女子個人ダブルスと女子個人シングルスで、全道大会に出場しました。更に、弓道部、工藤乃梨花さんが選抜大会で、全国大会出場を果たし、サッカー部がフットサル選手権大会で全道大会進出を決めました。

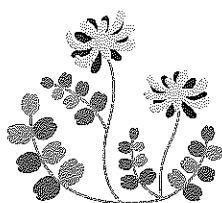
た。

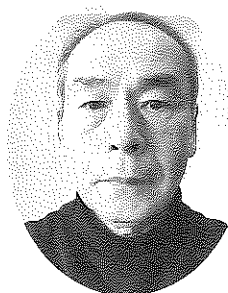
文化系部活動も活躍し、高文連の大会において、書道部と美術部が、全道大会出場を果たし、書道部の下元柚果さんが、来年度の全国総合文化祭への出場を

決めています。

進路でも快挙がありました。四年ぶりとなる国公立大学進学者が現れました。北九州市立大学に見事合格したのです。合格者は、部活動に生徒会活動にがんばった生徒です。

来年度も栗高は更なる飛躍に向け、努力を重ねる所存です。最後になりますが、卒業生諸君のこれからの活躍と、同窓会会員各位の益々のご健勝を祈念いたします。





東京栗山会副会長
松本 洋幸

平成三十一年と呼称される時
もあと数か月、五月一日からは
新元号となります。

この記念すべき年に栗山高校
を卒業される後輩の皆さんに
エールの言葉を贈りたいと思
います。まずは、ご卒業おめで
とございます。それぞれに希望
と不安を抱えて新たな道に果
立っていくことと思います。

父親に見送られて、栗山駅か
ら東京に向かったことが思い出
されます。

私は昭和四十年（第十七回）
卒業で、同級生は家政科含めて
約二七〇名でした。私たちの世
代は、後に団塊の世代と言われ
突出した世代人口を形成し、常
に社会に対し良かれ悪かれ影響
を与えてきました。数が物の需
要を生み、競争を起し、身の
処し方を決めていかなければな
りませんでした。

改元に絡み振り返ると、昭和
の頃は高度経済成長を経験し、
平成ではコンピュータを駆使
したIT社会の中に身を置き、
七十二年間の人生を歩んできま
した。

そして今、新たな元号が始ま

ろうとしています。

人生百年時代と言われる中
で、「IT」や「AI」が益々
発展しその成果を大いに享受す
る世の中となるでしょう。私ど
もが歩んできた時代とは明らか
に異なる時代をあなた方は人生
の多くを生きてゆくことになる
でしょう。

社会は一段とグローバル化が
進み、あなた方は異文化との接
触、異文化をもつた人々との交
流の機会が多くなるでしょう。
例えば、スマホの翻訳機能を駆使
してコミュニケーションが出来
たととしても、自国の歴史や文化
の知識に疎ければその成果は半
減するでしょう。歴史や文化に
親しむことの尊さを知っておい
てください。

最後に、自分の目標に向かう
時、多くの困難と向き合うのが
必然です。目の前にある課題に
対し、真摯に向き合い、一つ一
つ解決していく努力が新たな可
能性を発見します。努力の積み
重ねは人生を豊かにし、足跡を
残すことになるでしょう。そこ
には何事にも代えがたい達成感
と価値が得られるはずです。し
かし課題から逃げたら何も残ら
ないことを肝に銘じ、何事にも
果敢にチャレンジし、人生を謳
歌してください。

プロフィール

第十七回卒業生（昭和四十年卒）
昭和四十三年

一年間休学し派米農業実習生
として渡米
昭和四十五年

日本大学農獣医学部卒

平成二十二年

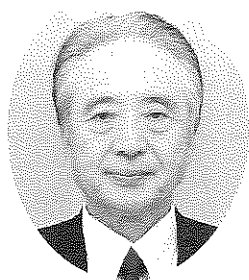
全国開拓農業協同組合連合会
代表理事専務退任

平成二十五年

株式会社日本農協畜産公社
代表取締役社長退任

現在 栗高同窓会東京支部副会
長 東京栗山会副会長

「成功とは続けること」



栗高さつばろ会
山本 竹市

水により、濁流の渦巻く夕張川
を渡る必要がなかった。彼ら
はアイヌの丸木舟に身を委ね、
決死の覚悟で川を越えたのでし
た。翌日から開拓の闘いが始ま
りました。極限の状況の下、開
墾に全生命を燃やし続けるし
か、生きる術がありませんでし
た。

明治二十三年五月、アノロ開
拓地へ「角田村」認可の行政通
知が届いた。現在の栗山町の始
まりです。以来、先人らの血と
涙の結晶により、栗山町は発展
を遂げてきました。

皆さんの進む先には、人類の
経験したことのない社会が待ち
受けるように思われます。AI

をはじめとして、科学技術等の
進歩は際限なく、人間と機械の
境界さえ失われるのではと危惧
されます。そんな状況下で、生
を繋ぐには、並大抵ではない努

力が必要であることは、論を待
たないでしょう。

しかし、みなさんには、「若さ」
という、強力な味方が付いてい
るのです。先人らの開拓精神へ
思いを馳せてください。「よし！
頑張ろう」の負けじ魂が心底か
ら湧き起こるに違いありません。

「成功とは、続けることであ
る」松下電器産業（現パナソニッ
ク）創業者の松下幸之助の言葉
です。成功とは目標に向かって
挑戦を続ける事であり、挑戦に
失敗はない。一分かり易く、心強
い言葉ではありませんか。苦境
に遭遇した時、諦めずに「心の
鉄」を振り続けてください。前
途に必ず光明が見出されるで
しょう。卒業生全員が、希望の
道を歩まれんことを、願ってや
みません。

プロフィール

昭和三十七年 卒業

昭和四十一年

早稲田大学第一商学部卒業

日協家庭電器入社

昭和五十年

ビジネス教育研究所入社

昭和五十四年 損保代理店開業

平成三年

北海道行政書士会入会

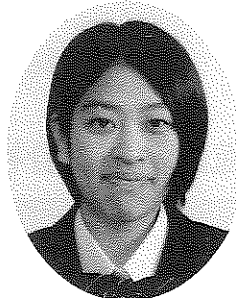
平成二十九年

栗山町開拓の祖

泉 麟太郎翁に捧ぐ

小説「アノロ原野」刊行

「三年間を振り返って」



3 年 1 組
古 野 亜 海

栗山高校で過ごした三年間で、私はたくさんのことを学びました。

私は二年生の後期から生徒会書記長という大役をやらせていただきました。私の主な仕事は毎週の定例会で出された意見をまとめて記録することでした。他にも、会長やその他の生徒会の人達の仕事の手伝いもしました。仕事に慣れるまではとても時間がかかりましたが、生徒会の十四人のメンバーと先生方のおかげで、自分の仕事をやり遂げ、皆で協力して大きな行事を成功させることができました。ありがとうございます。

また、私は三年間、女子バスケットボール部に所属していました。三年間の中で大変だったこともたくさんありましたが、ご指導して下さいました先生方、毎

日部活動と一緒に頑張ってきた部員の皆様にはとても感謝しています。

勉強は、すると言ってもテスト期間のみでした。私は専門学校に進学するのですが、これから大変な思いをするのは自分なので、普段からやっておけば良かったと今は後悔しています。

クラスについては、私のクラスは元気が良く、団結力はとてもあると思います。学校祭ではデモンストレーションが一番の思い出です。クラスの女子は九人しかいないので（男子は二十一人）、女子全員が協力して衣装を作りました。それぞれの衣装の分担をこなしながら、皆で案を出し合い、とても良いものに仕上がったと思います。三年一組全員で団結して取り組んだ学校祭はとても良い思い出になりました。

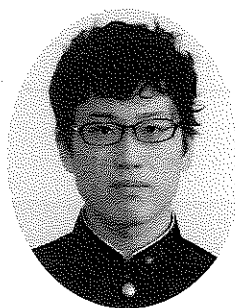
体育祭では、女子の人数が少ないため女子全員がほぼ全種目に出場しなければならず、とても大変でしたが、その分仲が良くなり、楽しい時間を過ごすこ

とことができました。

三年間の中で色々なことを経験でき、とても勉強になりました。栗山高校での三年間

を将来に生かせるようにこれから一生懸命頑張りたいと思います。三年間、本当にありがとうございました。

「高校での三年間」



3 年 2 組
山 中 涼 太

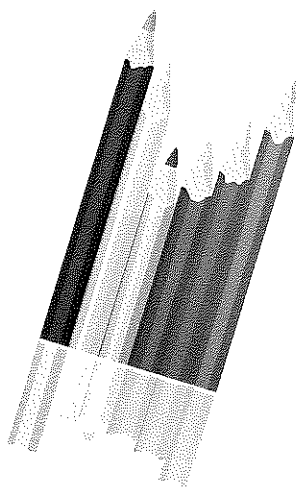
高校に入学した時は三年間の長い高校生活が始まると思っていましたが、気が付けばもうあと少しとなり、本当にあっという間の高校生活でした。高校一年生から三年生までの学校生活はきついこともありましたが、楽しいこともあって充実したのになりました。

そんな中、一番思い出に残っているのはやはり修学旅行です。まるで狙ったかのように台風が直撃して一日目の奈良公園、二日目の法隆寺と清水寺の

してあればよかったと後悔しています。基礎をもっと固めていればいろんな所で役立ったかもしれないし、しっかり理解していれば次の内容もやりやすくなるので最初のうちからきちんと勉強しておくべきだったと後悔しています。

高校生活で得た経験をもとに、卒業後、大学で自分の好きな教科を学んだ後、社会人として好きな仕事に打ち込んでいけるようになりたいです。たくさん友達ができ、クラブ活動や学校生活での様々な行事でたくさん思い出ができた高校生活でした。支えて下さった先生方やクラスメイトには感謝しかありません。三年間今までありがとうございました。

高校に入学した時は三年間の長い高校生活が始まると思っていましたが、気が付けばもうあと少しとなり、本当にあっという間の高校生活でした。高校一年生から三年生までの学校生活はきついこともありましたが、楽しいこともあって充実したのになりました。



進路の状況

1. 進路希望と合格・内定状況

平成 31 年 2 月 4 日 現在

進路先		大 学	短期大学	看護学校	専門学校	公務員	就職(含自営)	その他	合 計
男 子	希望者数	11	0	0	18	1	13	0	43
	合格または内定数	10	0	0	18	1	13	0	42
女 子	希望者数	2	1	1	10	0	4	0	18
	合格または内定数	2	1	1	10	0	2	0	16
希望者の合計		13	1	1	28	1	17	0	61
合格または内定者合計		12	1	1	28	1	15	0	58

2. 進路決定状況

種 別	進 学				就 職		合 計
	大 学	短期大学	看護学校	専門学校	公務員	就職(含自営)	
男 子	10	0	0	18	1	13	42
女 子	2	1	1	10	0	2	16
合 計	12	1	1	28	1	15	58

3. 進学者内訳

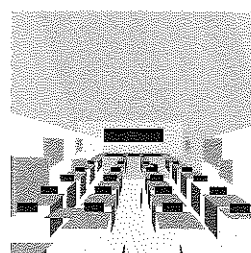
進学先	地 域	道 内		道 外		合 計
	性 別	男子	女子	男子	女子	
国公立大学		0	0	1	0	1
私立大学		9	2	0	0	11
短期大学		0	1	0	0	1
看護学校		0	1	0	0	1
専門学校		18	10	0	0	28
合 計		27	14	1	0	42

4. 就職者職業分類内訳

職 種	男子	女子	合計
専門・技術	3	0	3
事 務	0	2	2
販 売	0	0	0
サービ	0	0	0
保 安	1	0	1
農林漁業	1	0	1
生産工程	8	0	8
運 送	0	0	0
建 設	1	0	1
そ の 他	0	0	0
合 計	14	2	16

5. 就職者地域別内訳

地 域	男子	女子	合計
栗 山	7	0	7
由 仁	2	0	2
長 沼	0	0	0
南 幌	0	0	0
岩 見 沢	2	1	3
南 空 知	0	1	1
札 幌	2	0	2
他 道 内	1	0	1
道 外	0	0	0
合 計	14	2	16



卒業生名簿

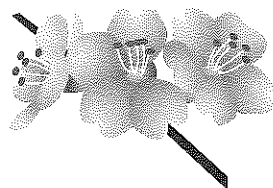


一組担任
鈴木 香

稲田 太一 梅津 俊弥 小川 隼翔 兼田 弥 小寺 涼太 小林 遵 佐々木 峻成 佐藤 誠也 鈴木 拓磨 鈴木 鷹太 田中 葵輝 中野 蓮輝 西岡 聖蓮 新田 洋輔 藤森 遥稀 保坂 開輝 堀井 開斗 八木 橋斗 山田 拓海

河原 ひかる 柳 彩花 笹嶋 美希 砂田 しおり 谷内 綾 平澤 菜摘 古野 亜海 前田 瞳可 横山 玲緒奈

○クラス幹事
梅津 俊弥 古野 亜海



二組担任
佐藤 樹也

阿部 裕太 大江 裕介 大澤 涼真 大塚 遼介 加藤 陸 本戸 孝洋 桐木 僚沙 坂本 素爾 竹本 駿介 田村 将司 段坂 一貴 中野 雄太 成田 潤紀 西下 零生 野澤 恒平 広瀬 大夢 本間 颯斗 丸岩 魁斗 村松 拓斗 柳嶋 愛人 山田 悠稀

山中 涼太 石塚 梓織 伊藤 花純 川瀬 悠有 倉田 麻由 近藤 さくら 佐藤 希 中 山 マリナ 水 上 マリナ 宮脇 未奈

○クラス幹事
山中 涼太 中山 マリナ

平成三十一年度進路決定状況

(平成三十一年二月四日現在)

《大学・短大》

北九州市立大学 (経済学部経済学科)
 北海道情報大学 (情報メディア学部情報メディア学科)
 北海道情報大学 (経営情報学部システム情報学科)
 北海道情報大学 (医療情報学部医療情報学科診療情報
 管理専攻)
 札幌大学 (スポーツ文化専攻)
 札幌学院大学 (経済学部経済学科)
 札幌学院大学 (人文学部人間科学科)
 北海道武蔵女子短期大学 (英文学科)

《専門学校》

駒沢看護専門学校 (看護科)
 北海道介護福祉学校 (介護福祉学科)
 北海道情報専門学校 (ゲームクリエイタ科)
 北海道情報専門学校 (システムエンジニア科)
 吉田学園医療歯科専門学校 (救急救命士学科)
 吉田学園医療歯科専門学校 (臨床工学科)
 吉田学園情報ビジネス専門学校 (ゲームクリエイタ科)
 北日本自動車大学校 (自動車整備科)
 北海道メディカル・スポーツ専門学校 (柔道整復師学
 科)

北海道メディカル・スポーツ専門学校 (スポーツトレー
 ナー学科)

日本航空専門学校 (空港技術科)

北海道芸術デザイン専門学校 (建築デザイン科)

札幌医療リハビリ専門学校 (理学療法学科)

愛犬美容学校専門学校 (トリマー科)

札幌医療秘書福祉専門学校 (医療保育科)

札幌医療秘書福祉専門学校 (医療秘書科)

札幌こども専門学校 (保育科)

大原医療福祉専門学校 (診療情報管理コース)

大原法律公務員専門学校 (国家公務員地方上級コース)

専門学校札幌ビジュアルアーツ (写真学科)

光塩学園調理製菓専門学校 (調理技術選考科)

札幌ベルエポック美容専門学校 (美容師科)

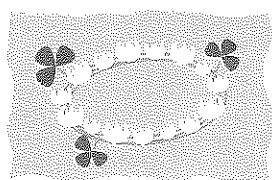
《民間企業》

北海道内田鍛工株式会社
 旭イノベックス株式会社
 松原産業株式会社
 北海道ニプロ株式会社
 日本食品製造 合資会社
 本田農機工業株式会社
 いわみざわ農業協同組合
 日本郵便
 北海道畜産公社
 タニコー株式会社
 株式会社札幌アール・シー鋳業
 松原産業株式会社
 家業手伝い (就農)

《就職》

《公務員》

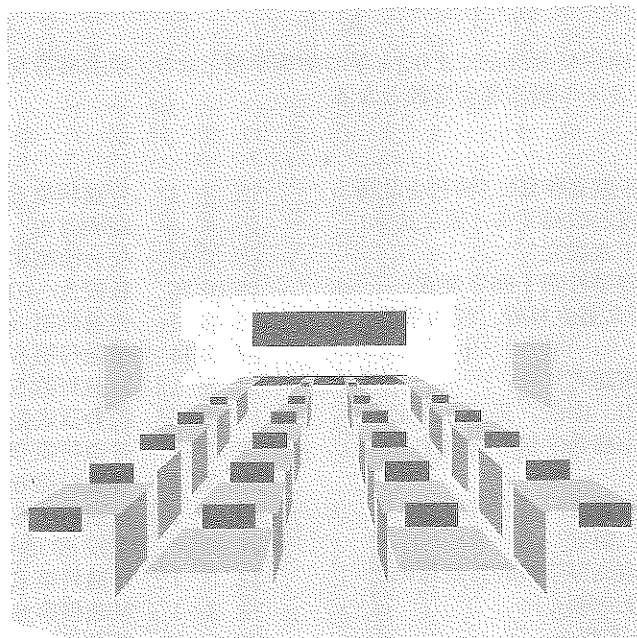
自衛官候補生



同窓会役員

会 長	昭 41 卒	本 田 諭
副 会 長	昭 43 卒	山 崎 信 治
	昭 45 卒	中 島 孝 幸
	昭 47 卒	月 輪 淳 裕
	昭 49 卒	武 岡 和 幸
	昭 50 卒	岡 山 典 弘
	昭 51 卒	山 代 賢 治
事 務 局 長	昭 50 卒	山 本 信 二
事 務 局	平 10 卒	伊 藤 幸 秀
会 計	昭 41 卒	高 田 威 彦
会 計 監 査	昭 37 卒	丸 山 紘 司
	昭 53 卒	松 下 早 苗

※東京支部は本州全域の会員、さっぽろ会は札幌市近郊の会員を対象として支部を結成しており、毎年会合を開いております。御連絡を。



栗高同窓会東京支部

◆ 会 長 桂 正 洋

◆ 事務局 奥 田 芳 博

栗高さっぽろ会

◆ 会 長 卜 部 喜 雄

◆ 事務局 平 野 博 昭

沿 革 史

私立栗山裁縫学校時代

- 大正 5. 11. 7 私立栗山裁縫学校として設置認可
6. 4. 16 栗山仏教会館にて開校式

村立栗山高等裁縫学校時代

- 大正 13. 3. 31 私立栗山裁縫学校廃止
5. 23 実業補習学校規定により公立栗山高等裁縫学校設置認可。但し栗山尋常高等小学校に併置
11. 30 校地を旧校舎の位置（中央 3 丁目）に定め正面 2 階建て校舎落成

村立栗山実科高等女学校時代

- 昭和 4. 3. 12 高等女学校令により公立栗山実科高等女学校設置認可。但し栗山尋常高等小学校に併置
3. 31 公立栗山高等裁縫学校廃止、生徒は公立栗山実科高等女学校に吸収
4. 15 独立校舎にて開校式
以来この日をもって開校記念日と定む
7. 3. 25 第 1 回卒業式、同窓会設立（3 月 6 日創立）
8. 11 校歌作成なる（現在の校歌）
12. 8 校名旗制定
9. 8. 11 校旗制定
7. 21 校章制定（撫子花、七宝焼）
14. 4. 15 開校 10 周年記念式典

北海道栗山高等女学校時代

- 昭和 18. 4. 1 中学校令改正により 2 ヶ年の中等学校となり、栗山高等女学校（公立）と改名
21. 4. 1 3 ヶ年制高等女学校となる

北海道栗山高等学校時代

- 昭和 23. 4. 1 栗山高等女学校を道立移管し、校名を北海道立栗山高等学校と改称する（男女共学）
栗山高等学校 P T A 設立
24. 3. 18 北海道立栗山高等学校第 1 回卒業式
10. 15 開校 20 周年並びに道立移管、校舎増築を祝い記念式典
25. 3. 31 定時制普通科併置認可
26. 4. 1 本校通学区を栗山、由仁、長沼と決定
校名を北海道栗山高等学校と改称する
27. 12. 1 農業定時制設置
31. 4. 1 定時制農業科併置認可
33. 3. 1 新校旗（現校旗）制定
4. 1 通学区変更（長沼高等学校設置認可のため長沼町を学区より除く）
34. 9. 13 開校 30 周年記念式典
37. 9. 7 定時制農業科 10 周年記念式典
44. 9. 7 開校 40 周年記念式典
46. 9. 7 校舎移転改築第 1 期工事着工
48. 12. 23 新校舎への移転完了（20 日より 23 日まで）
49. 11. 4 校舎落成記念式典
52. 12. 4 農業科創立 25 周年記念式典
54. 10. 14 開校 50 周年記念式典
55. 11. 11 定時制普通科創立 30 周年記念式典
60. 2. 17 定時制普通科閉科記念式典
3. 31 定時制普通科閉科
61. 2. 15 定時制農業科閉科記念式典
3. 31 定時制農業科閉科
63. 2. 23 制服改定（現制服）
平成元年 9. 3 開校 60 周年記念式典
4. 2. 22 家政科閉科記念式典
3. 31 家政科閉科
11. 10. 16 開校 70 周年記念式典
13. 3. 1 普通科第 53 回卒業式
14. 3. 1 普通科第 54 回卒業式

15. 3. 1 普通科第 55 回卒業式
15. 4. 8 制服改定
15. 7. 23 校舎改築工事着工
15. 10. 26 新校舎への移転
16. 3. 1 普通科第 56 回卒業式
17. 3. 1 普通科第 57 回卒業式
18. 3. 1 普通科第 58 回卒業式
18. 11. 15 校舎落成記念式典
19. 3. 1 普通科第 59 回卒業式
20. 3. 1 普通科第 60 回卒業式
21. 3. 1 普通科第 61 回卒業式
21. 10. 17 開校 80 周年記念式典
22. 3. 1 普通科第 62 回卒業式
23. 3. 1 普通科第 63 回卒業式
24. 3. 1 普通科第 64 回卒業式
25. 3. 1 普通科第 65 回卒業式
26. 3. 1 普通科第 66 回卒業式
27. 3. 1 普通科第 67 回卒業式
28. 3. 1 普通科第 68 回卒業式
29. 3. 1 普通科第 69 回卒業式
30. 3. 1 普通科第 70 回卒業式
31. 3. 1 普通科第 71 回卒業式

